

平成 25 年度鹿児島学習定着度調査 結果の概要をお知らせします

実施期日

平成 26 年 1 月 15 ～ 16 日

実施学年

小学校第 5 学年
中学校第 1・2 学年
県内すべての公立小・中学校で実施

実施教科

小学校 国語・社会・算数
理科・児童質問紙
中学校 国語・社会・数学
理科・英語・生徒質問紙

調査の趣旨・目的

学習指導要領において身に付けることが求められている基礎的・基本的な知識・技能や思考力・判断力・表現力等に関する学力状況を把握するとともに、児童生徒の学習に関する意識や学び方などの学習状況を把握する。

また、各学校に全体的な傾向との比較・分析などを通じて、自校の課題を明確にさせ、問題解決的な学習活動を取り入れるなど教員の指導法改善を図るとともに、児童生徒の学力向上を図る。

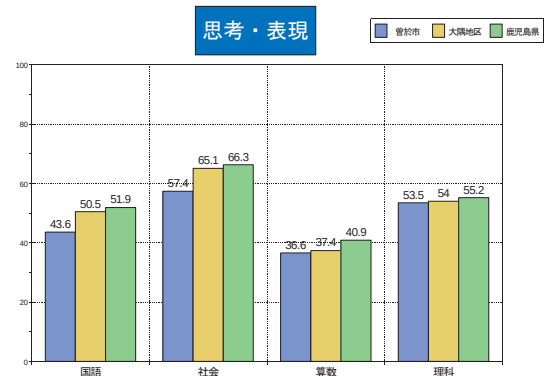
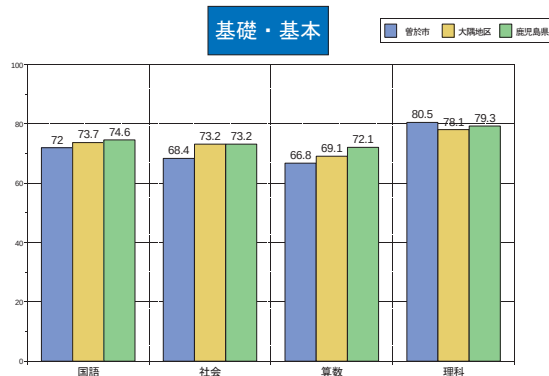
※ 「基礎・基本」：学習指導要領において身に付けることが求められている基礎的・基本的な知識・技能

※ 「思考・表現」：「基礎・基本」を活用して、よりよく問題を解決するための思考力・判断力・表現力

※ 「通過率」：各設問ごとに正答した児童生徒の数を、調査実施児童生徒数で割った割合

※ 「大隅地区」：曾於市、鹿屋市、垂水市、志布志市、大崎町、東串良町、錦江町、南大隅町、肝付町の 4 市 5 町

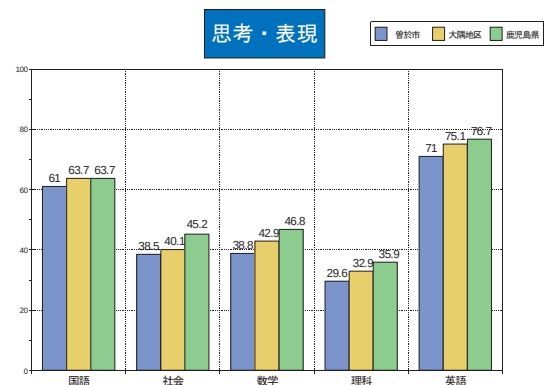
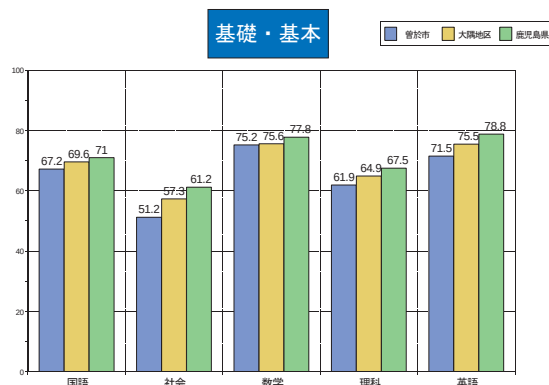
< 小学校 5 年生の通過率 >



【分析】 理科の「基礎・基本」は、地区や県の通過率を上回っています。その他は、「基礎・基本」「思考・表現」とともに地区や県の通過率をやや下回っています。特に社会科は、「基礎・基本」「思考・表現」とともに地区や県との差が大きくなっています。

【対策】 授業の後半では、その時間において身に付けなければいけない学習内容を振り返り、補充問題等に取り組むなど、定着を見届ける時間を必ず確保していきます。

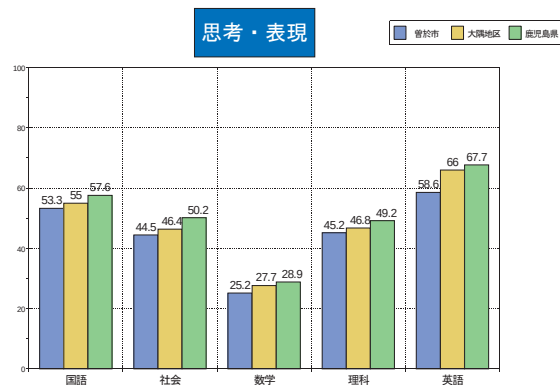
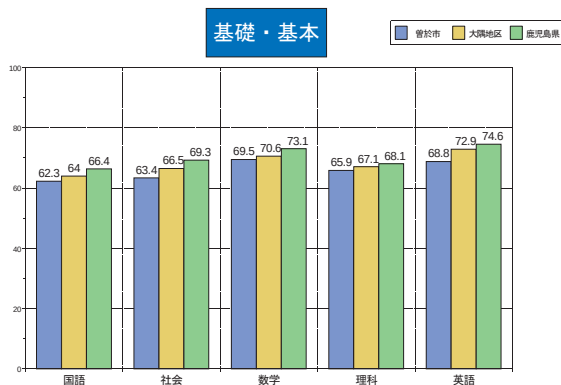
< 中学校 1 年生の通過率 >



【分析】 数学の「基礎・基本」は、地区の通過率とほぼ同じです。その他は、「基礎・基本」「思考・表現」とともに、地区や県の通過率を下回っています。特に社会科の「基礎・基本」は、地区や県との差が大きくなっています。各教科の「思考・表現」も県や地区との差が大きくなっています。

【対策】 授業の中で、ペアやグループでの話し合い活動を設定し、練り合い、深め合う場面を確保します。また、授業の後半では、「定着の時間」を確保します。

＜中学校2年生の通過率＞



【分析】 数学の「基礎・基本」は、地区の通過率とほぼ同じです。その他は、「基礎・基本」「思考・表現」とともに、地区や県の通過率を下回っています。特に英語の「思考・表現」は、県や地区との差が大きくなっています。

【対策】 教師がしゃべりすぎるのではなく、生徒が主役となって自分の考えを相手に分かりやすく伝える場面が中心となる授業にしていきます。また、授業の後半では定着の時間を必ず確保します。

『市の学力向上への取組』 1 そのおっ子の「夢」育み支援 事業の推進

オリンピックで活躍したトップアスリートや芸術家等を招き、講演や実技をとおして知識や技能を学ばせ、夢や目標、そしてこれをエネルギー源とする「やる気」をもって努力することの大切さを学ばせます。

2 市学力向上対策研究協議会の充実

(1) 学力向上対策研究協議会の開催
ア 小・中・高連携による協議会の開催

- (ア) 第1回平成26年5月14日
 - (イ) 第2回平成26年6月24日
 - (ウ) 第3回平成26年12月18日
 - (エ) 第4回平成27年2月19日
- イ 学力向上のための共通実践（重点指導）事項の推進

曾於市の子どもたちが心がけること

- ① 「はい」の返事を大きな声ではっきり言います。
- ② 発表話型に沿って文末まではっきりと大きな声で発表します。
- ③ 授業中の正しい姿勢と「三つの話の聞き方」をしっかりとします。
- ④ 机上には、授業時の準備をしっかりとします。
- ⑤ 静かで落ちついた中で授業を始めます。

曾於市の教師が心がけること

- ① 児童生徒が主役となる授業を行います。
- ② 授業で、個やグループで思考し、練り合いの場を確保します。

- ③ 児童生徒の発言を大事にして授業を行います。
- ④ 返事の仕方や発表話型をしっかりと指導します。
- ⑤ 確実な定着を見届ける時間を必ず確保します。

(2) 指導と評価フォーラム開催

平成26年7月30日 末吉中央公民館
全職員を対象に、学力に関する各種検査を具体的に生かすための講義・演習や、学級づくりの効果的な「構成的グループエンカウンター」の実技演習等を行います。

(3) 「夢」実現チャレンジ講座の開催

平成26年8月5日～8日 曾於高校
異なる中学校に在籍する生徒たちが一堂に会し、切磋琢磨しながら学習することで、より明確な学力向上への意欲を喚起するとともに、基礎学力の確実な定着を目指します。

(4) 教師力向上講座（夢実現支援者の集い）の開催

- 第1回 平成26年5月31日
 - 第2回 平成26年8月8日
 - 第3回 平成26年11月15日
- 児童・生徒の学力向上を図るために、教師自らが「指導力の向上」を目指します。
- (5) コーチングルームの開催（年間を通して随時）

教師一人一人がそれぞれ抱えている課題や悩みについて、市内の校長・教頭・指導主事等が対応し、指導力の向上を目指します。

『家庭へのお願い』

1 家庭学習の時間を確保しましょう。

全県で取り組んでいる「家庭学習6090運動」を受け、市内各小・中学校では、それぞれの学校の家庭学習時間を設定し、家庭への協力依頼を行っています。

毎日の家庭学習時間がしっかりと確保されているか、確認をお願いいたします。

2 自分で課題を見つけて取り組む「宅習」にチャレンジしましょう。

市内各小・中学校では、与えられて取り組む「宿題」ではなく、「ここが苦手だがやっておこう」等の、課題を見つけて取り組む「宅習」を指導しています。

家庭においても、「今日の宅習は何を頑張ったの?」というような声かけをしながら子どもたちが進んで取り組めるよう協力をお願いします。

3 親子で一緒になって家庭学習に取り組ましましょう。

市内各小・中学校は、各中学校のテスト期間に合わせて家庭学習強調週間を設定しています。この期間中に、「ノーマデリアデー」「親子読書」等を位置付け、学校と家庭が連携しながら家庭学習の充実を図っています。

家庭学習強調週間の取組への御理解・御協力をお願いします。

学力向上のため、学校と連携を深めながら、さらなる家庭学習の充実を目指しましょう。